

令和4年第2回新十津川町議会定例会一般質問通告表

順位 (議席番号)	質問者	質問事項	答弁者	摘要
1 (3)	進藤久美子	<p>1 「町営合同墓」の建設について</p> <p>平成28年第3回定例会で「合祀共同墓地の建設」について質問をさせていただきました。その際、町長は「将来において必要となることが考えられるが、現段階では窓口への問い合わせも皆無に等しい中で、公設運営をすることの意義や規模、管理方法など他市町の事例を参考に慎重に検討を重ねる必要があります、今はまだ、そのような時期ではない」との答弁をされた。</p> <p>当時、中空知には公設の合同墓はなかったが、その後、平成30年に砂川市、令和2年に赤平市、令和3年に滝川市と3市が建設されている。</p> <p>墓地使用返還件数は、平成25年度から27年度までの3年間で29件だったが、28年度以降は年平均で15件以上と件数が増えている状況にあり、墓地を長年にわたり維持することの難しさが垣間見える。</p> <p>今後、身寄りのない高齢者や特定の宗派を持たない方が増えることが予想されることから、慣れ親しんだ郷土・新十津川で永遠に眠り続けることができるように、本町に「町営合同墓」を建設すべきと考えるが、町長の考えを伺う。</p>	町長	

順位 (議席番号)	質問者	質問事項	答弁者	摘要
2 (5)	小玉 博崇	<p>2 コロナ後における住民協働の推進の取り組みについて</p> <p>コロナ禍の影響により、行政区活動をはじめとする地域のコミュニティ活動が行えない時期が約2年以上に及んだ。ワクチン接種が進み、コロナと共存する社会の在り方が少しずつ変わり始め、イベントや人々の集まりも一律に中止の流れから、徐々に実施する流れへと変わりつつある。</p> <p>しかし、コロナの影響を受けたこの2年間で地域コミュニティの在り方が大きく変化し、集まらないことが通常化してきていることに加え、心理的にも地域活動への参加意欲が減少してきている。</p> <p>本町の第6次総合計画では、住民協働の推進を掲げ、地域活力の維持、町民自治の実現を目標とし、住民活動の促進の取り組みを進めることとしている中、コロナ後における住民協働の推進への取り組みについて伺う。</p>	町 長	
		<p>3 公共サービス民間委託に関する考え方について</p> <p>本町では、平成18年度に実施した保育所の指定管理者制度による民営化をはじめとして、福祉施設の民営化、給食センター、学校送迎バスの民間業務委託、今年度からは図書館、学校図書館が民間業務委託となった。また、次年度に向け、地域包括支援センターの民間業務委託が計画されている。</p> <p>公共サービスにおける民間活力の活用は、行政事務効率化の点でも有用なことと考えるが、本町公共サービスにおける民間委託に対する考え方と今後の方針について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民間委託を実施する考え方 ・ 民間委託による期待する効果 ・ 民間委託する行政事務選別の基準 ・ 公共サービス外部委託の今後の方針 	町 長	

順位 (議席番号)	質問者	質問事項	答弁者	摘要
3 (2)	村井 利行	<p>4 町奨学金の対象拡充について</p> <p>大学等の進学に際しては、入学金や授業料等の他に、複数校の受験料が必要となるケースがほとんどであり、また、受験がうまく行かず、やむなく予備校に通うことになると、大学等入学とほぼ変わらない経費が必要であり、本人、親にとって頭を悩ませる問題である。</p> <p>受験料が払えずにやむなく受験をあきらめたという話も聞いている。教育を受ける権利をできるだけ平等にするため、受験料及び予備校も町奨学金貸付の対象に加えるべきと考えるが、教育長の考えを伺う。</p>	教育長	